

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 23 36 37 38	「心に触れ、願いに気づき、必要に応え、信頼を築いていく」という理念の下、一人一人の思いを大切にしたケアを目指しているが、認知症の症状による本人の困りごとに対し、「自分だったら」と立場を置き換えて考える前に、その場しのぎの対応になっていることがある。	利用者の思いをより深くみ取り、かかわりに反映させることができる	①認知症の中核症状による困りごとについて、「ひもときシート」を活用した思考の展開をトレーニングする研修を行う ②記録や申し送りだけでなく、日々のかかわりの中での気づきや考えを、メンバー間の対話を通し深めていく時間を確保する ③センター方式C-1-2シートの詳細な見直しと追加を行い、日常生活の具体的な場面における「本人にとっての安心・心地よさ・望む生活」とはどんなことを指すのか、チームで十分なすり合わせを行い、かかわりの工夫をさらに増やす	12か月
2	13	事業所内外の研修の参加の機会をつくっているが、個々の介護職員のスキルアップを支援できていない。	介護職員のキャリアアップを推進し、将来のビジョンを明確にしながら仕事に取り組めるようにする	①日頃の仕事の様子や個人目標の振り返りをもとに、スキルアップのための具体的方策について管理者と一緒に検討する ②アセッサーによる知識の確認と実践的スキルの評価を行い、介護プロフェッショナルのレベル認定に取り組む	12か月
3					か月
4					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。